

区分・種別	県指定史跡		
名称	しきどう 子規堂	まいはつとう 附 埋髪塔	
所在地	松山市末広町		
所有者	正宗寺	管理団体	
指定年月日	昭和23年10月28日		
解説	<p>俳人^{まさおかしき}正岡子規は、松山市新玉町に生まれたが、まもなく湊町4丁目1番地に移り、17歳で上京するまでこの居宅に住んだ。彼の死後、居宅の一部を近くの^{しょうじゅうじ}正宗寺の境内に移し、子規堂と名付けた。その後2度の火災にかかり、現在のものは旧宅を模して、昭和21（1946）年に再建されたものである。</p> <p>総建坪151㎡木造平屋建、玄関が4畳、北に茶の間3畳、奥に8畳の書院、その北に6畳の間があり、玄関の南に3畳の小部屋がある。子規は少年時代この小部屋で勉強に励んだ。</p> <p>また、同境内に明治37（1904）年9月建立の子規の^{まいはつとう}埋髪塔がある。これは子規の三年忌に、生前親交のあった正宗寺の住職^{いっしゆく}仏海（排号一宿）が遺髪を埋めて建立したもので、花崗岩の拝石は高さ81cm、幅94cm、正面に彫られている子規像と文字は、彼の親友であった^{しもむらいざん}下村為山の筆になるものである。</p>		

